

編集後記

最大震度7を観測し、石川県を中心に上下水道施設のほか、様々な社会インフラへ甚大な被害をもたらせた能登半島地震では被害の大きさから現在も応急復旧などに取り組んでおられます。石川県他被災地の一日も早い復旧・復興を心より祈念申し上げます。

今年度に入り、国土交通省での上下水道行政の所管（上水道は一部環境省）や新たな上下水道官民連携モデルのウォーター PPP の導入検討の加速化といった上下水道業界ではインフラの事業スキームの変革によってビジネススタイルも大きく変化していくことが想定されます。このような大要からも俯瞰した効率的な上下水道一体型の事業展開がスタートする一年になると考えます。

一方で、DX 技術などを駆使した利便性、経済性で

有利な技術の開発・導入によって、昨今のインフラ建設・マネジメント技術をより高度化し、事業を効率的に実施することが求められる時代に入っております。

本機関誌の今号の特集記事では既存施設のマネジメントを進めていくうえで不可欠な調査や探査等の技術紹介や事例などが掲載されています。近い将来、このような技術が多く of の事業者で導入・実施され、全施設の完全調査などに向けて活用されることと思われま

す。むすびに、コンサルタントエンジニアの端くれとして、市民の暮らしの基盤である水インフラの社会ニーズを的確に捉え、一層の技術習得と研鑽に励んでいきたい意気込みです。

〈機関誌編集委員 長島隆幸〉

○機関誌編集委員会

□特別顧問

▶森田 弘昭
(一社)日本非開削技術協会会長

□委員長

▶尾崎 正明
(株)G&U 技術研究センター代表取締役

□委員

▶小川 仁
芦森工業機械製品事業本部バルテム統括部バルテム営業部長

▶河西 一嘉
エクシオグループ(株)土木事業本部土木営業部門担当課長

▶熊谷 岳志
(公財)水道技術研究センター管路技術部長

▶黒田 博之
大和技建(株)関東支店支店長

▶鈴木 敬一
川崎地質(株)企画・技術本部課長

▶竹中 聡
東京電力パワーグリッド(株)工務部流通土木グループ管路チームリーダー

▶田中 宏治
管清工業(株)生産技術部生産技術課主任

▶築山 知子
オリジナル設計(株)コンサルティング一部エンジニアリング課

▶津野 和宏
国土館大管理工学部理工学科まちづくり学系教授

▶出口 大志
NTT インフラネットワーク(株)設備管理部アーバンデザインセンター所長

▶中川 喜夫
中川ヒューム管工業(株)取締役執行役員戦略推進室長

▶長島 隆幸
株式会社コンサルタント取締役東日本事業本部副事業部長兼東京支社社長

▶西坂 浩章
積水化学工業(株)環境・ライフラインカンパニー管路更生事業部課長

▶森 治郎
アイレック技建(株)非開削推進事業本部副部長

▶山長 聖和
(株)奥村組営業本部営業戦略部管理課長

○編集スタッフ

事務局長：榊 克実
編集：赤坂 誠 ・ 大屋 健
古川 みずき ・ 石田 逸人

環境にやさしい

非開削技術

季刊

No.127 2024 Apr. 令和6年4月1日発行

編集：「非開削技術」編集委員会

発行所：一般社団法人 日本非開削技術協会
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
リードシー門前仲町ビル3階
TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975
E-mail : office@jstt.jp
https://www.jstt.jp/

発行人：森田弘昭

印刷所：株式会社LSプランニング



● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。

○購読料 (税込み)

1冊 1,650円(本体1,500円)〒400円
1ヵ年(4冊)6,600円(本体6,000円)〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇技術記事

非開削に関連する技術、製品についての技術記事を募集しています。

投稿技術記事は委員会で選考の上、掲載技術記事には本誌規定の原稿料をお支払いすると共に「非開削技術報告表彰」の候補としてノミネートされます。

◇情報のご提供について

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2024 Printed in Japan / ISSN 2435-841X

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。